

1学期末(7月)実施 学校評価アンケート集計結果報告

「わくわくする学校」づくりに向けて

令和6年9月 柳井市立伊陸小学校

保護者・学校運営協議会委員の皆様には、ご多用な中「学校評価アンケート」へのご協力ありがとうございました。皆様からのご回答をいただき、集計・分析を行うことができました。

ご回答の結果について、教職員で検討させていただきました。主な成果や課題、改善策を載せております。結果をもとに工夫改善を行い、今後の教育活動に反映させていきたいと思っております。

4段階の中間値は2.5ですので、それよりも値が大きければ、回答集団は「4:よくあてはまる、3:おおむねあてはまる」寄りにあり、それよりも値が小さければ、「2:あまりあてはまらない、1:まったくあてはまらない」寄りにあると読みます。

本校の評価アンケートの回答は、全ての項目で 3.1以上 をめざしています。



◆全校集計一覧（児童アンケート）

評価項目	番号	内 容	0 1 2 3 4	前期
知	1	授業では、先生や友達のことをしっかりと聞いている。		3.4
	2	授業では、友達や先生に自分の考えをしっかりと伝えている。		3.4
	3	授業で学んだことをふり返ることができている。		3.4
	4	家庭学習は、決められた時間(1・2年:20～30分 3・4年:40～50分 5・6年:50～60分)を守って取り組んでいる。		3.3
徳	5	ふわふわ言葉をたくさん使っている。		3.5
	6	家族や友だち、先生、地域の人に進んであいさつをしている。		3.7
	7	目標を決め、最後まであきらめずにやり抜くことができている。		3.4
	8	学校であったことを家族に話している。		3.6
体	9	くつばこやロッカーなど身の回りを整えている。		3.5
	10	早寝・早起きができている。		3.1
	11	体育の時間や休み時間には、進んで体を動かしている。		3.5
	12	家でゲームをするときやテレビ・動画を見るときは時間を守っている。		3.3
—	13	学校は楽しい。		3.4
	14	自分にはよいところがあると思う		3.1

- 児童の結果を見ると、「徳」の項目である「ふわふわ言葉」「あいさつ」「家族とのコミュニケーション」が、高い評価となっています。家庭・地域からのあたたかいまなざしや声掛けにより、安心・安定して毎日を過ごしていることが分かります。少人数の学校の強みを生かし、これまで以上に一人一人を大切にしながらよりよい学校づくりに取り組んでいきます。
- ▲ 「早寝早起き」「メディア使用時間」「家庭学習時間」が、低めの評価になっています。『メディアと上手に付き合うためには』というテーマの熟議を実施し、子どもたちが自らの生活を振り返る機会を設けたことで意識が高まってきました。ご家庭でのお声掛けやルールづくりによって効果が上がると思いますので引き続きご協力をお願いいたします。学校でも保健指導・学級活動等で指導を続けて参ります。
- 「自分にはよいところがあると思う」の評価が低い値を示しました。自己肯定感〔＝自己を肯定的に受け止める気持ち・自己を認める気持ち〕は、全ての学び、生活の土台となります。学校でのさまざまな場面において子どもたちを励まし、承認していくことを続けていきます。ご家庭でもご協力をお願いいたします。

◆全校集計一覧（保護者アンケート）

①【家庭教育評価】			0	1	2	3	4	前期
評価項目	番号	内 容						
知	1	家庭学習（宿題）を確認したり、意欲的に取り組むように声をかけをしたりしている。						3.3
	2	家庭学習の時間を決め、集中して取り組めるようにしている。						3.0
	3	読書を推奨している。						2.6
徳	4	あいさつの大切さについて話し、あいさつをするように声をかけている。						3.7
	5	がんばったことをほめるなどして、自信をもたせるようにしている。						3.4
	6	コミュニケーション						3.5
体	7	早寝・早起き						3.0
	8	運動・遊び						3.1
	9	メディア						3.0
②【学校教育評価】			0	1	2	3	4	前期
評価項目	番号	内 容						
学校風土（学力向上）	1	学校は、教師や友達の話をしっかり聞いたり、自分の考えをしっかり述べたりする「学び合う授業づくり」を行っている。						3.7
生徒指導（道徳教育等）	2	学校は、児童の「自己肯定感」や「ふるさとを愛する心」を高める取組や活動を行っている。						3.6
健康・安全（体力向上等）	3	学校は、子どもの健康保持・増進（運動、遊び、保健衛生等）や安全（日常生活、交通安全、自然災害等）への対応・取組を行っている。						3.5
情報発信	4	学校は、学校だより、学校ホームページ、学級通信、緊急メール、文書等を通して必要な情報を発信している。						4.0
地域連携	5	学校は、コミュニティ・スクールとして、保護者・地域と連携して学校運営や学校教育の質の向上に努めている。						3.5
—	6	お子様は楽しく学校へ通っている。						3.7

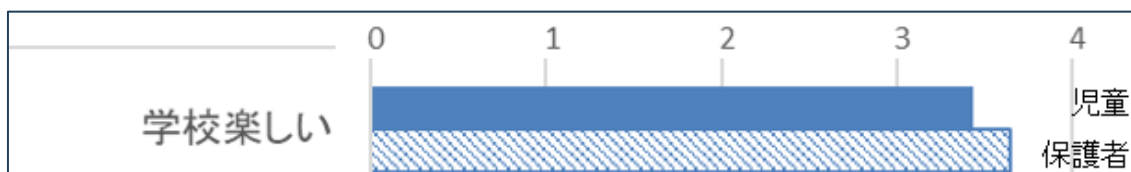
◆全校集計一覧（地域のみなさま（学校運営協議会委員）アンケート）

①【地域教育評価】			0	1	2	3	4	前期
評価項目	番号	内 容						
知	1	学校のさまざまな教育活動に対し、支援している。						3.3
徳	2	子どもたちにあいさつや励ましの声かけを行っている。						3.5
体	3	運動会や参観日等、学校に来て子どもたちの様子を参観した。						3.7
②【学校教育評価】			0	1	2	3	4	前期
評価項目	番号	内 容						
学校風土（学力向上）	1	学校は、教師や友達の話をしっかり聞いたり、自分の考えをしっかり述べたりする「学び合う授業づくり」を行っている。						4.0
生徒指導（道徳教育等）	2	学校は、児童の「自己肯定感」や「ふるさとを愛する心」を高める取組や活動を行っている。						3.6
健康・安全（体力向上等）	3	学校は、子どもの健康保持・増進（運動、遊び、保健衛生等）や安全（日常生活、交通安全、自然災害等）への対応・取組を行っている。						3.2
情報発信	4	学校は、学校だより、学校ホームページ、学級通信、緊急メール、文書等を通して必要な情報を発信している。						4.0
地域連携	5	学校は、コミュニティ・スクールとして、保護者・地域と連携して学校運営や学校教育の質の向上に努めている。						3.9

◆保護者と児童のアンケート比較

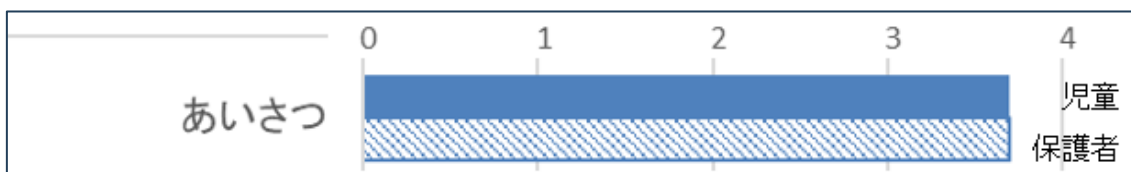
アンケート結果から表れた成果

【成果 1】楽しい学校



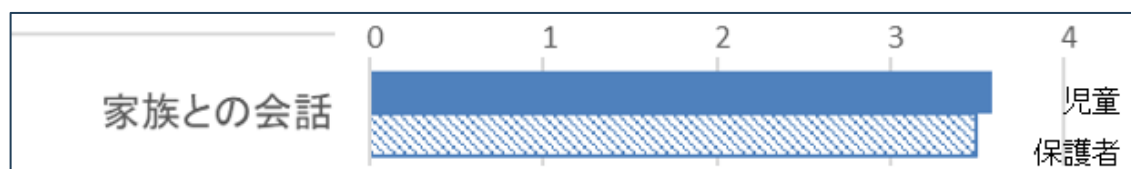
(分析) 日々の授業において児童が「わかった」「できた」と感じ、充実感を得ていることが肯定的評価につながった要因の一つだと思います。また、地域や外部機関と連携した体験学習を行ったり、運動会を始めとした学校行事を充実させたりしてきた成果が表れていると感じます。これからも、引き続き児童のアイディアを生かした活動や学習を取り入れながら「わくわくする学校」づくりに努めて参ります。

【成果 2】進んであいさつ



(分析) 以前から地域に響くさわやかなあいさつをめざし、取り組んできた成果が表れています。3～6年生の運営委員会が中心となり、校内での「あいさつ運動」を行ったり、登校班の班長がお手本となって地域の方へのあいさつを行ったりといった取組を日々重ねたことが、高評価につながったのだと思います。ご家庭でもあいさつの大切さを伝え、励ましの声をかけてくださったことに感謝いたします。ただし、保護者の皆様の交通指導記録に「あいさつの声が不十分」「あいさつをもう少しがんばってほしい」という記述が見られたのが現状です。引き続き学校・家庭・地域が連携して指導を重ねていきたいと思っています。

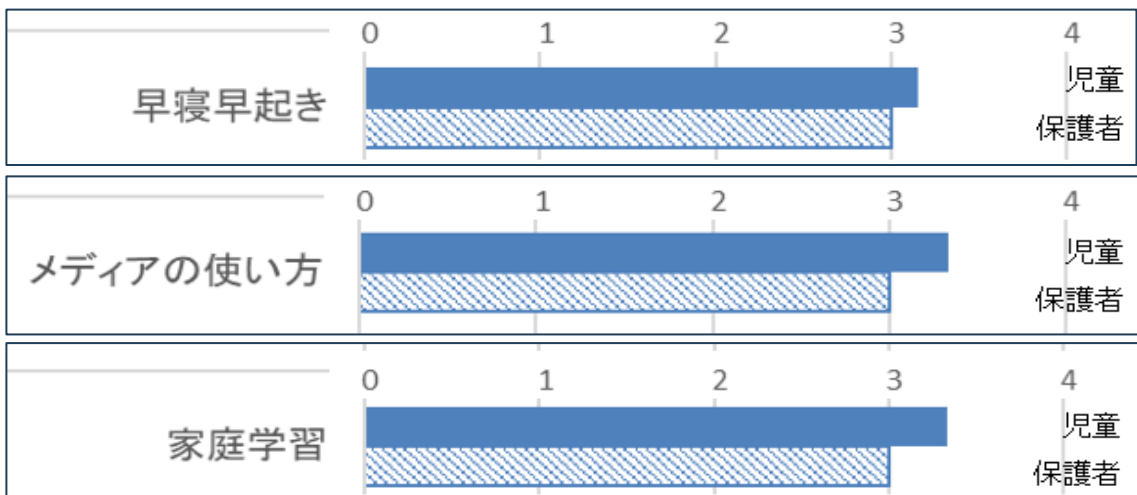
【成果 3】家族とのコミュニケーション



(分析) 児童の項目「学校であったことを家族に話している」、保護者の項目「学校の出来事や友だちのことについてよく話をしている」、共に高い評価となっており、家族のコミュニケーションが十分に取れていることが分かります。家庭でしっかりと会話をし、安定した気持ちで登校することで、学校でも意欲的に学習や運動などに向かえると思います。引き続き、家庭でも「今日、何が楽しかった？」と言葉掛けをお願いします。

アンケート結果から表れた課題

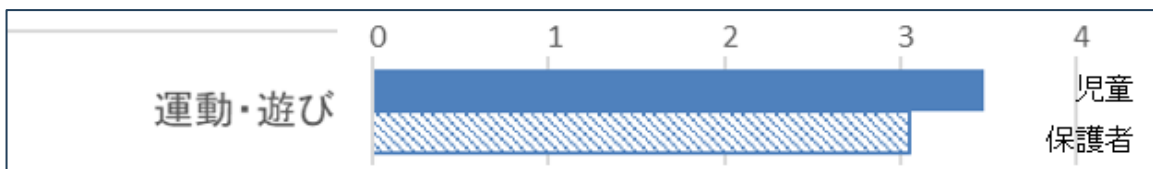
【課題１】 学習に向かう構え（学校と家庭との連携を通して）



（分析）児童・保護者共に低評価ですが、保護者と児童の認識の差が見られ目標値に到達していないという評価が多かったようです。

（対策）メディアコントロールに心がけ、適正な睡眠時間を確保し、生活習慣を整えることは「学習に向かう構えづくり」のために必要不可欠です。児童自身が自分の生活についてしっかりと分析できていますので、学校でも、委員会活動等を活用して生活習慣を整えることの大切さ・利点について考え、自分ごととして改善に向かえるような工夫をしていきたいと思ひます。学校・家庭との連携が大切です。ご家庭でもお声掛けをお願いします。

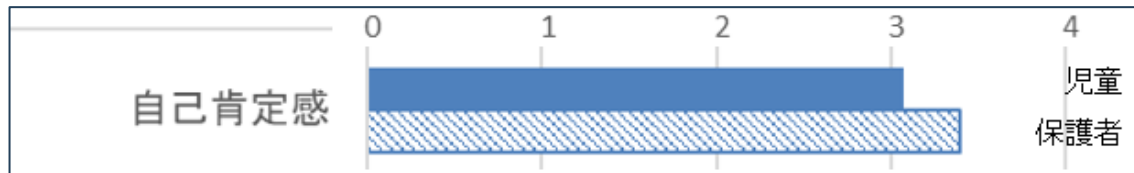
【課題２】 進んで運動に取り組む姿勢



（分析）児童は3.5、保護者は3.1と、評価に差が見られました。児童は、“学校で”体育の授業を中心に運動に取り組んでいます。しかし、猛暑続きの気候であることや、放課後や休日などにも外遊びの時間確保が難しいことから、“家庭で”外遊びを奨励することが難しくこのような結果が出たと考えられます。

（対策）過ごしやすい気候となる2学期には、たてわり班遊びや一輪車など、外遊びの機会を積極的にもち、児童の評価が更に肯定的なものとなるように努めて参ります。休み時間や特別活動の時間等を利用し、児童から自主的に運動に取り組む機運を作っていきたいと考えています。なお、2学期には、持久走・なわとびなど家庭でも継続して行える学習が計画されています。ぜひご家庭でもお子様と共に取り組んでいただければと思ひます。

【課題3】 自己肯定感の醸成



(分析) 児童は3.1、保護者は3.4と、評価に差が見られました。児童への質問項目「自分にはよいところがあると思う」に対し、1・2年生は全員が肯定評価でしたが、中・高学年には低評価の児童や「わからない」と回答した児童が見られました。自分の良さを自身で感じたり、他から伝えられたりする場面を意識できる機会が少なかったことが要因ではないかと思います。また、成長の過程で自分を肯定的に見ること・見せることに抵抗感を覚えるようになることも要因の一つとしてあげられると思います。

(対策) 学校においては、子どもたちのアイディアを発揮する場面を設定し、その過程を認め自信をもたせることに努めていきたいと思います。2学期には多くの行事があります。学習内容も多岐にわたります。多くの成功体験を積み重ねることができる学期です。それらの機会を通して、児童が自己肯定感を醸成できるように励ましていきます。ご家庭でも引き続き、お子様のがんばりを積極的に評価し、自信をもたせていただければと思います。

アンケートの自由記述より

◆保護者の方より

○子どもたちのことを毎日見守ってくださりありがとうございます。先日の熟議は、子どもや先生、地域の方の話や意見を聞くことができ、私自身とても勉強になりました。また参加してみたいと思います。

○いつも先生方には、子どもたち一人一人を気にかけてくださりありがとうございます。子どもに寄り添って考えてくれたり、きちんと叱ってくれたり、子どもからもよく話を聞きます。担任の先生の小さい頃、大人になってからのこと等経験した話を子どもの口から聞きますが、よい刺激になっているみたいでキラキラした目で教えてくれます。いつもありがとうございます。

●交通指導観察記録を書いたものがありますが、1年の終わり・学期末などでもよいので、こんな意見があったとか、あいさつの声がどうかとか知りたいなと思います。

【回答】・・・交通指導記録をいつも丁寧にご記入いただきありがとうございます。まとめたものを学校だよりで掲載したり、参観日などに掲示したりし、みなさまにお伝えする機会を設けていきます。

- 大雨の時の登校（注意喚起等）のメールが中学校からは送られてくるが、小学校からはないのでクマ情報以外にもメールをもっと活用した方がいいのでは。

【回答】…今後、台風等の荒天が予想されます。児童の安全を最優先に考え、積極的にお知らせを発信していきたいと思います今後も安全メールの確認をよろしくお願いします。貴重なご意見をありがとうございました。

◆地域の方より

- 学校運営協議会に参加させていただき、「大人がより学校・児童への関わり・関心をもつ」「児童がより地域社会・大人の世界への関わり・関心をもつ」ことのできる素晴らしい活動だと感じました。

- 学校、保護者、地域それぞれの本気ですてきな取組があり、それが気持ちよくつながって成果を上げていることを実感します。ありがとうございます。

- 学校ホームページの「今日の出来事」、ワクワクしながら見ています。学内の様子もさることながら地域の情報まで、複合施設のコンセプト「みんなの家」とスクールコミュニティ構想が合致した学校運営の状況が見て取れます。日々更新され、日によっては複数回の発信があり、溜めると大変です。



貴重なご意見、温かい励ましをありがとうございました。

保護者・地域の皆様と力を合わせて課題を克服し、伊陸小学校が子どもたち、保護者、地域の皆様にとって、もっと「わくわくする学校」になるように全力で取り組んでいきたいと思ひます。

引き続き、皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。



柳井市立伊陸小学校

